



代表取締役
富岡 英里子 氏

活用した支援

- ・コーディネーター相談
- ・クラウドファンディングセミナー等

課題

- ・創業計画・事業計画の策定
- ・経営に関する全体的な支援

解決策

- ・コーディネーターによるフェーズごとの伴走支援（無料）
- ・各種申請サポート（無料） 等

得られた効果

- ・千葉市トライアル発注認定
- ・『ベンチャー・カップCHIBA』SDGsビジネス賞受賞
- ・ICT活用等生産性向上支援事業採択

芝居で人と街を豊かに！ 伴走支援で芽吹いた事業化のかたち

CreateRita株式会社は、「人と街を豊かにするお芝居事業」をコンセプトに、演劇で培った表現力を“地域の中で役立つ力”へと転換しながら事業を展開しています。現

在は演劇の構成力を活かした「企業広告動画制作」と、コミュニケーションを目的とした「お芝居ワークショップ」が主軸で、将来的に4つの事業を計画しています。

支援のきっかけと決め手は？

10代の頃から演劇に携わり、俳優として活動をする一方で、20代、30代と年齢を重ねる中で、「直接的に誰かの役に立っている実感を得にくい」という感覚を抱くようになりました。ライフステージの変化をキッカケに初めて千葉市に拠点を移し、知り合いもほとんどいない状況で、「これからどのように活動を続けていけばよいのか」を模索する状況でした。

そんな中、2023年10月に千葉市産業振興財団（以下、財団という）が主催するクラウドファンディングセミナーを知りました。当時、クラウドファンディング自体には抵抗があったものの、「引越してきたのだから、まずは動いてみよう。行っただけ行ってみよう」という気持ちで参加を決めたことが、人生の転機となりました。

どのような取り組みを行いましたか？また、取り組みの進め方を教えてください。

クラウドファンディングセミナーの個別相談で、以前から考えていた「千葉をロケ地にした映画制作がしたい」という構想を話しました。その際、前向きな言葉をかけていただき少し自信が持てたことと、クラウドファンディング伴走サポートサービスを活用できることを知ったことで、クラウドファンディング

へのチャレンジを決めました。最終的にクラウドファンディングを達成することができ、撮影もひと段落した頃に『ベンチャー・カップCHIBA』への挑戦を進められ、本格的に財団のコーディネーター支援を受けることになりました。まず取り組んだのが、“表現活動”を事業計画や申請書といった“ビジネスの言葉”と一緒に落とし込

む作業です。自分の思いをビジネスプランに具現化することは、自分一人の力では絶対に実現できなかったと思います。



取り組みの成果を教えてください。

クラウドファンディング達成、ベンチャー・カップ受賞で法人化！

「芝居」を軸に、「教育」「民間」「地域」「行政」をキーワードに、4つの事業を計画しました。結果的に、『ベンチャー・カップCHIBA』では「SDGsビジネス賞」を受賞することができ、2025年1月に法人化を行いました。法人化して一年を迎えますが、個人事業主だった時代と仕事相手や仕事の

規模が変化しており、引越してきた頃には想像ができないくらい、人生が前向きになっています。他の成果としては、コーディネーターにさまざまな補助金制度を教えてもらい、申請のサポートを受け、「ICT活用等生産性向上支援事業」や創業者向けの補助金などを活用できました。また、令和7年

度の「トライアル発注認定事業」に採択され、千葉市の職員研修としてワークショップが導入されることになりました。伴走支援を受けたことで「思い」だけでなく、書類の書き方や計画の立て方、活用できる制度など、起業家としての技術を身につけている実感があります。

今後の事業展開や財団に期待すること

ー今後の事業展開について
まずは三つの方向性で考えており、一つ目は、ストーリー性のある企業向け動画制作を広げることです。二つ目は、千葉の魅力発信につながる「千葉コンテンツ」の制作、三つ目は、ワークショップの浸透と、学校教育への導入です。教室を持つことも視野に入れ、最終的な夢として「公立学校で演劇が取り入れられる」未来を描いています。

ー財団に期待すること
伴走支援を受けていなかったら、今の自分はないと思います。引き続き、地に足のついた現実的なアドバイスをもらいたいです。私の中でやってみたいことがたくさんある中で、困った時もそうでない時も、必要なタイミングで相談し、考えを整理して、次の一歩を具体化していきたいと思っています。



ーありがとうございました。